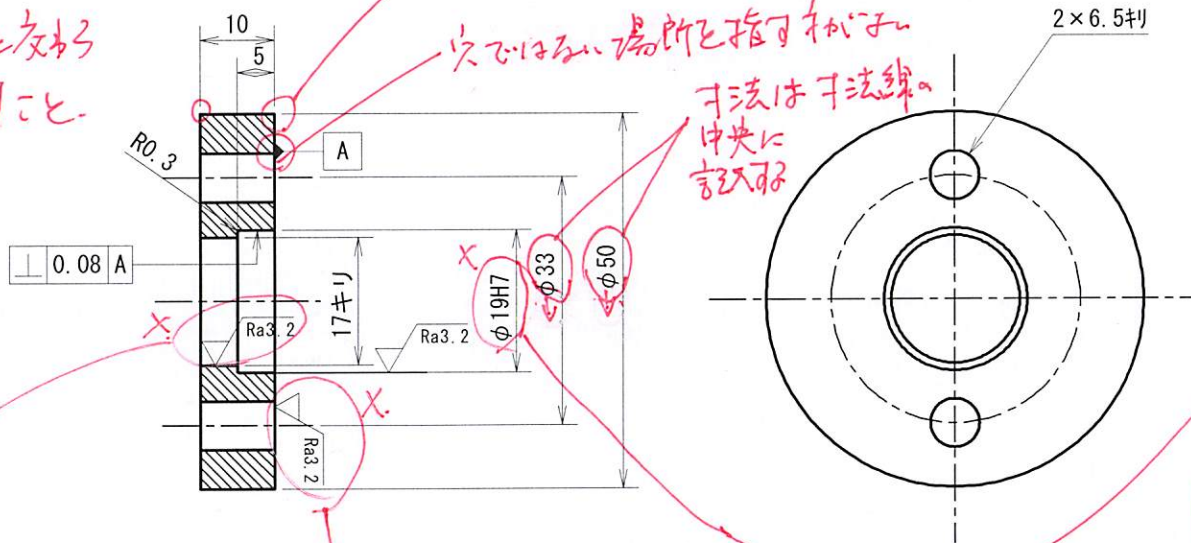


* 素材寸法は素材リストから最も近いもの。(仕上寸法リストから大玉のφ)と記入。切り出しが必要なら方向α寸法は(仕上寸法)+5mm程度と可。こと。

7

▽ Ra25 (▽ Ra3.2)

★寸法線や補助線は
下エリや他の線と交わり
ないことには注意可。こと。



特記寸法部は糸面取り

普通幾何公差
(JIS 04P-mk など)
と記入可。こと。

はめ合いは φ19H7(二)の
形式で許容寸法も可。こと。
・数値を可なのは製作図下から
・カットが必要なのははめ合い寸法
(二αは17は147)と重複寸法
下から

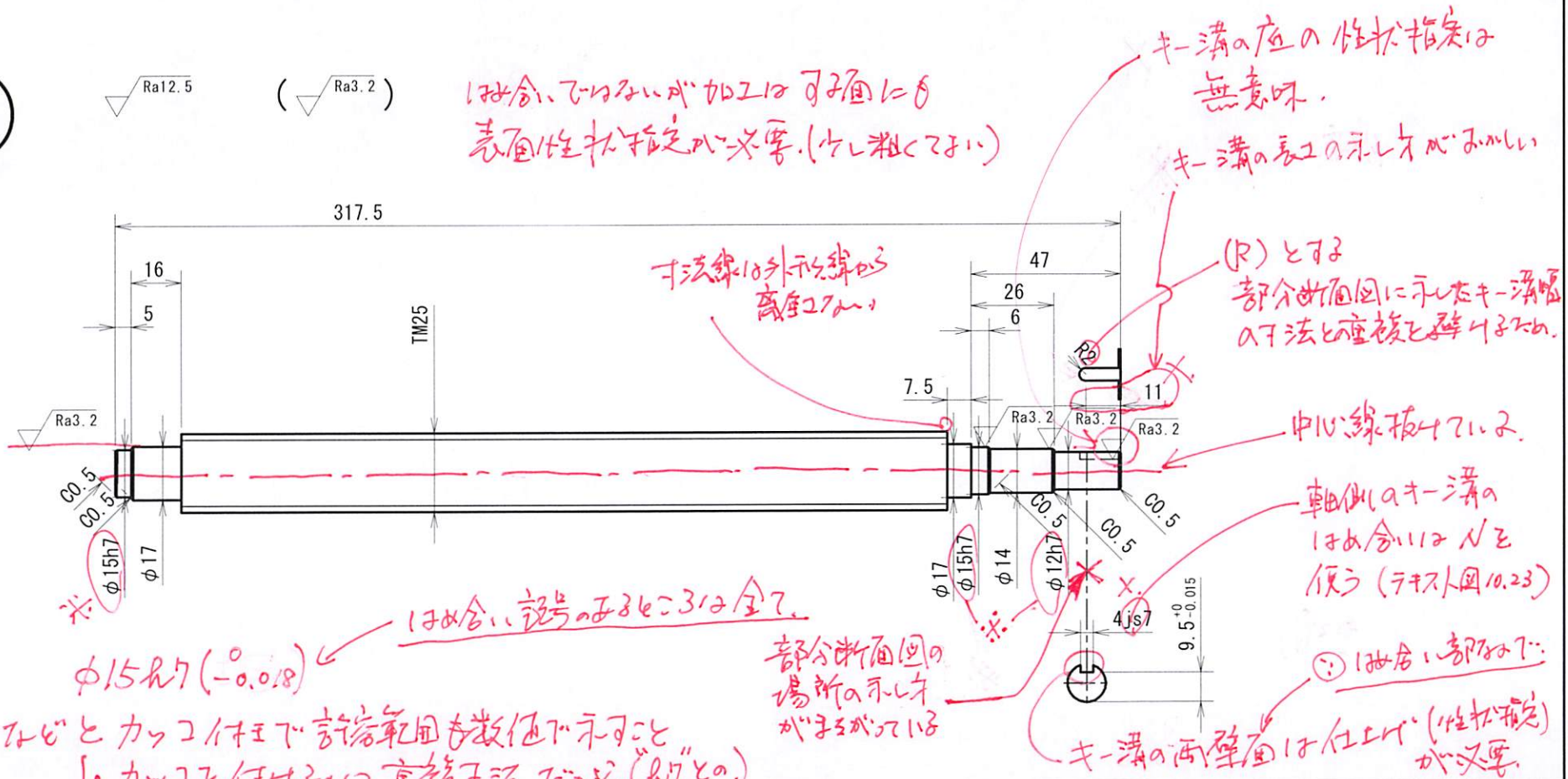
・図形寸法と重なること
は可。補助線に
便して引可。こと。

・先以前は、この面に精磨を
仕すか指定は不要。 ← キリ指と仕上寸法は可。こと!

・文字の向きが可。こと。
補助線に便して指可。
・穴の上を指する可。こと。

7	軸受ハウジング1	2	C2700	φ55×15
部番	名 称	個数	材 質	素材寸法など
2016年6月30日		尺 度		簡易引張負荷装置 部品図
市大 太郎		1:1		
C班				

8



1. 配合、加工は可子面に
表面性状指定が必要。(少し粗くていい)

キ-溝の底の性状指定は無意味.

キ-溝の長さの示しが必要.

寸法線は外寸線のみ
高径工程のみ

(R) とする
部分断面図に示したキ-溝幅
の寸法と重複を避けること.

中心線振付済み.

軸側のキ-溝の
はめ合いはNを
使う (参考図10.23)

φ15h7 (-0.018)
はめ合い、記号の子は3は全7.

部分断面図の
場所の示し
が必要.

はめ合い部分のみ.

キ-溝の両壁面は加工が必要.

はめとカッゴイテで許容範囲も数値で示すこと
・ カッゴと付与する重複寸法は示さず (h7と0.)
・ 数値で示すのは、加工図だから (現場での計測値と避けること)

寸法線と補助線は加工工程の線と交わらないことには注意すること.

8	台形おねじ	1	S45C	TM25 X 322
部番	名 称	個数	材 質	素材寸法など
	2016年 6月30日	尺 度	簡易引張負荷装置 部品図	
	市大 太郎	1:2		
	C班			

15

▽ (▽ Ra3.2)

※1 中心線と板の外子で取らないこと
 突っ張り子と板の中心線の意味になり
 記入しに子法と重複する

この面の加工可子での表面仕様の指定が
 必要 (T=0.1, 基準面より粗くよい)

特記可子各部の系面取り
 と記入可子

寸法線の外子線から離す
 (他の部分も同じ)

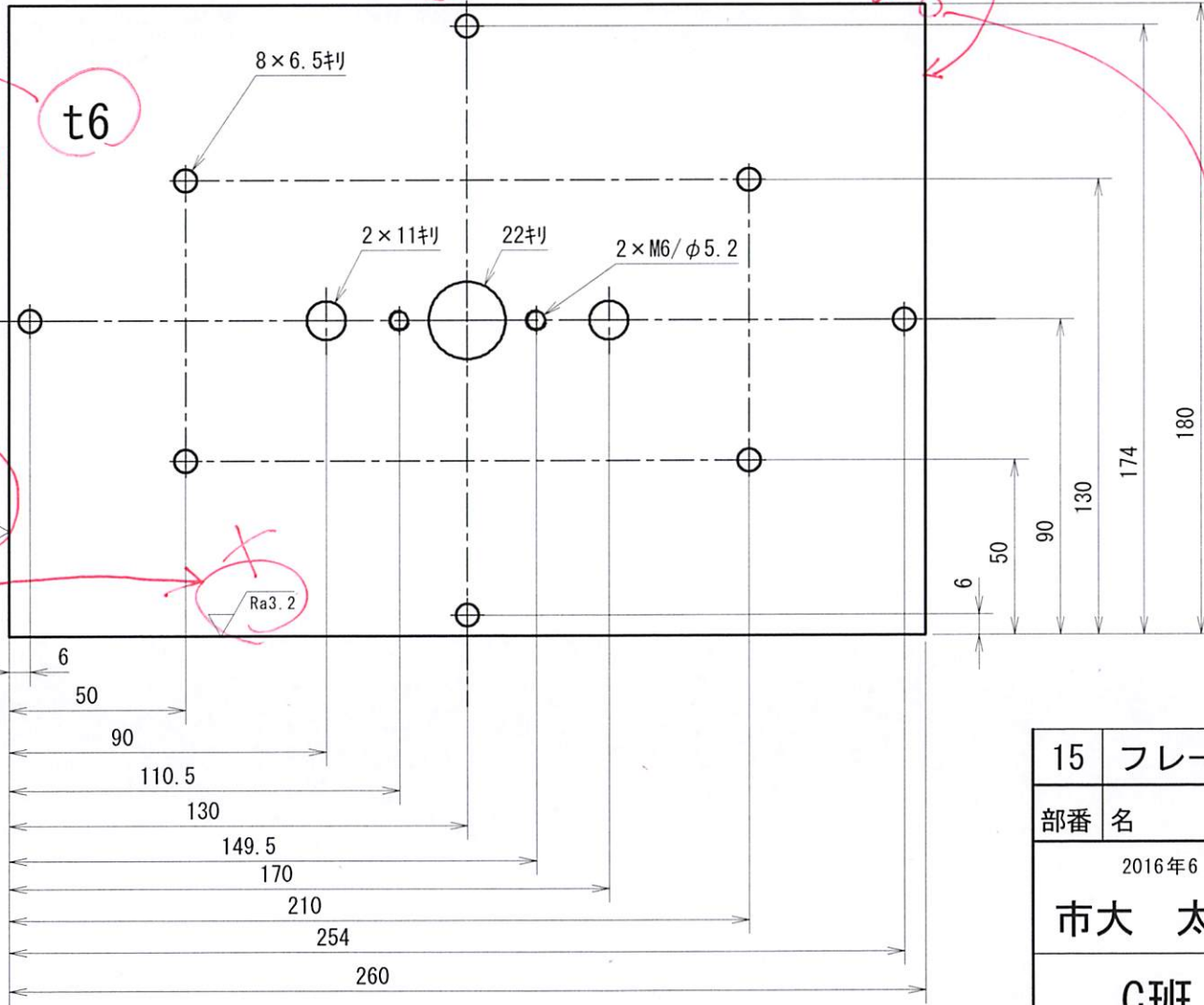
普通幾何公差 (JIS 0419-mk 等)
 と図中のどこかに記入可子

文字を小さく
 可子
 (他の文字を
 1/2サイズで可子)

※1

Ra3.2

面の外子側から
 指定可子
 (補助線を使う)



15	フレーム板上	1	SS400	*6x265x185
部番	名	称	個数	材質
2016年6月30日		尺	度	簡易引張負荷装置 部品図
市大 太郎		1:1		
C班				